

環境SP

最終報告

活動発表の前に

プロジェクトを立ち上げた際、東京では絶滅したニホンリスを呼び戻し、保護することをメインの活動としていましたが、フィールドの関係やDNAの問題からその活動を断念することになりました。

現在ニホンミツバチの飼育をすることをメインの活動にしています。ニホンミツバチは農薬の影響により、全国的に数を減らしているのが現状です。またニホンミツバチは植物の受粉の助けになり、自然を豊かにすることから飼育をしようと考えました。



ニホンリスの活動

目的：間接的または直接的な生態系の保全をする。

目標：ニホンリスが住めるほどの豊かな自然を一つでも多く増やし、リスやその他の多様な生物を保全することを目指す。



前期の活動内容

5月

守山リス研究会さんと連絡を取り始める。

ニホンリスの生態についての勉強
守山リス研究会さんとの研修に向けて準備
オープンキャンパスの準備

名古屋へ(8/17, 18)

1日目

東谷山での定期調査へ参加
勉強会

2日目

東谷山での環境教育えこどもに参加
意見交換





勉強会

11/16森林総合研究所

ニホンリスの研究をしている施設の見学

11/19井の頭自然文化園(動物園)

ニホンリスの飼育現場の見学



現在の目標へ

目的：都心における生態系の保全

目標：都心だからこそできる活動をする
ことにより、生物にとってよりよい
環境をつくり生態系の保全につなげる。

12月の活動内容

1日

銀座ミツバチプロジェクト講習会参加
ミツバチ見学

12～14日

エコプロダクツ展出展
江東みつばちプロジェクトさんと工学院大学
ミツバチプロジェクトさんと連絡を取り合う。

1月の活動内容

7日

東京都庁へミツバチの飼育許可申請書を提出。





今後の予定

1月

学校側へミツバチ飼育の企画書を提出し、飼育許可をもらう

2月

5日 江東みつばちプロジェクトさんの見学

3月

20日 工学院大学ミツバチプロジェクトさんの見学
学校周辺の植生調査

4月～夏休みまでにミツバチの飼育を開始する

今後の活動方針

ニホンミツバチの飼育をメインの活動とし、ミツバチを通して地域とのつながりを作ったり生態系への影響を調べていきたい。

そのためにまずは勉強や学校周辺の調査を行う。

ミツバチの飼育から得られるハチミツもどのように活用するか検討中。

ニホンミツバチの生態や飼育することのメリットが広まるようなことに活用したい。

ミツバチを飼うに当たっての安全性に関して

- ミツバチは温和な性格なため刺しません
- ※殺されるとミツバチが判断した場合は刺すことがあります。
- ミツバチの毒は刺されても死ぬものではありません。
- 今後の活動で安全面に関してしっかり学んでいきたいと考えています。

一年間を通して学んだこと

- 生態系保全とは一つの種だけではなく、それを支える基盤となるその他の動植物の保全が重要である。
- 目標が大きすぎたため活動方針が定まらなくうまく進まなかった。
- 1つの事にこだわりすぎて視野を広くもてなかった
- 実際に東谷山に行って保護活動をしてやってみないと気付けないことがあるとわかった。
- 20年活動を続けないと結果が得られないこともあることに気付いた。



ご清聴ありがとうございました。